

辰巳だより

本部新年例会報告

り歓談の花がそここで開き、不況の中ながら平和な日本の新春を祝ぎ、有難き事であった。

平成五年一月十九日（火）
本年も新年会を中国料理の東明閣で行われ、寒さの中ではあつたが三十八名が出席された。

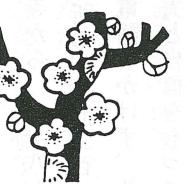
正午藤田幹事の司会により開会した。開会の辞は五十嵐幹事長がお元気にして述べられ、新年の挨拶を鈴木会長が述べられた。次いで会務報告を松下幹事が行われ、本年の米寿喜寿を迎えた方々を紹介され、又年の秋季例会以降の物故者を報告し、一分間の黙禱を捧げ、行事を終了した。

直ちに宴に入り、九〇才になられた高畠薰幸氏の音頭により乾杯が行われ祝賀会が始った。次々と中国料理の御馳走が運ばれ、永し振りに会われる方々もあ

宴央には本年九十二才を迎えた突永清人氏のスピーチを頂いた。本年はアトラクションとしてNHKの特集番組「企業倒産昨今」用に写された辰巳会の全国大会（昭和五十三年五月京都大雲院南渓園）の模様の収録ビデオとお家さんの御葬儀の折にフィルムに写されたものをビデオに再録された貴重なビデオの映写が行われ、熱心に観賞された。

最後に「辰巳会万才」を唱え、健康を維持して次回に再会するを約し散会した。

以上



晴れの青空の下折柄旭日の陽光に映えて、銀色に眩いばかりに輝き赤坂に聳えている壮麗な日商岩井東京本社ビルを望み、同社の益々の発展を祈りつゝ、思わず一句ものにする。

N・1の栄光讃え五月晴れ 三郎

間もなく恒例の幹事の安東さんよりご丁寧なお挨拶と案内があり、ユーモアたっぷりにこの春先からは雨が多くお天気が心配されましたが、例会の日をいつにするかと思案の上植田支部長が今日は晴天になるからと決められたとか、ほんとに晴れましたと楽しくご紹介があり、つづいて今年は金子翁吉翁の五十年祭の年ですが金子翁とゆかりの深い後藤新平さんのお墓参りを、先月の四月十二日東京支部幹事会の翌日の十三日にしたところ、お花が供えられておりご命日である事が分りましたと、興味深いお話をされ、又本日の例会に日商岩井株式会社、植田支部長よりご芳志を賜った事のご披露が

あつて皆さん感謝をした次第です。

バスは今多摩川橋梁を通過、八時五十八分東京料金所を通過して

東名高速を快調に走り九時十五分海老名S・Aに到着して小休止、皆さんは下車されて太陽の光線を存

分に浴びられて九時三十分出発、やがてバスガイド娘が日商岩井ご提供の爽やかなビールに旨いお酒

にジュース、コーヒー、日本茶のサービスに旅行気分を彌が上にも

もりたて、車内は一段とくつろいだ楽しい雰囲気になる。

バスは順調に走り早や大井松田I・Cを通過して丹沢山地の新緑を満喫させて呉れる。間もなく神奈川県より静岡県に入り御殿場I・Cを通過して窓外に雄大な富士の裾野のパノラマが展開する。今日の富士山は珍しく頂上付近に笠雲を発生させて、我々歓迎していくくれているかのようである。

十時二十分沼津I・Cに到着地上に降りて沼津市内を通り抜け国道1号線経由、十時四十三分に佐野

美術館駐車場に到着する。

佐野美術館は静岡県三島市中田町に在つてJR三島駅より南方約

一・四kmに位置し歩いて十五分である。展示品は体系的に一ヶ月毎に変更されるが、東洋の古美術品である金銅仏、陶磁器、青銅器、日本画、日本刀等幅広く收藏さ

れている。

幹事さんの案内で隣接せる隆泉園の湧水豊かな池のある、緑濃き

I・Cを通り静岡県に入り御殿場を通過して窓外に雄大な富士の裾野のパノラマが展開する。

今日の特別展のテーマは『巨匠たちの青春』で、近代日本画壇を代表する安田鞆彦、横山大觀、菱田春草、今村紫紅、石井林響、速水御舟、小林古径、前田青屯らが

明治後期から大正初期にかけて日本の革新に情熱をかけ、此處伊豆の修善寺町で幾度か集い研鑽し切磋琢磨していた若き時代の多く

の未公開作品を含む幻の修善寺町のコレクションの、①柳陰清談明治四十二年頃、横山大觀⑩孫悟

空 大正元年頃 今村紫紅 二云達 磨 明治四十四年頃 安田鞆彦等、誠に見事で正に芸術の真髓を發揮しており見応えがする約六十点の作品である。皆さん時間をかけて熱心に鑑賞される。作品は精緻で写実的な手法で更に豪華絢爛に彩られ、或る時は力強く若き情熱が満ち溢れている。

十一時三十四分佐野美術館を出发する。間もなく韋山串の坊に到着して辰巳会指定の奥座敷え案内され着席す。串の坊心づくしの懐石料理にビールとお酒を酌み交しながらの懐旧談に春風駘湯として、まこと楽しい限りであります。皆さん食事が終り早速全員玄関先で記念撮影して十二時五十分出発する。

韋山町に隣接せる大仁町田原の洋ランパークに十三時四分到着して、先ず千三百m²の第一温室に皆さん入室されカトレア、ファンポンガ熱帯植物と共に咲き乱れてい

方に顔をのぞかせ暖い気団と衝突をして、吹雪や竜巻や集中豪雨による洪水を発生させたりしましたが、本邦でも五月に入つてからそれらしい快晴も少く梅雨のはしりかのように寒冷な長雨が続いたりして、春季例会当日の天気が心配でしたが、昨日から今日にかけてやつと快晴の五月晴れに恵まれ正に天佑神助でせう、いつものよ

うに丸の内旧丸ビル明治屋前で幹事さんが掲げておられる辰巳会の旗印を目標にまつしぐら、お世話をして下さる幹事さんに感謝しつ藤田観光の豪華観光バスに乗車して、丸の内の清々しい新緑の樹木を眺めながらホットする。参加者十四名。皆さん方にこやかに益々健勝で若々しい。

東京支部 春季例会

平成五年五月十二日（木）

中伊豆 沼津行

定刻八時三十分出発する。バスは内堀通りの祝田橋、桜田門を経由して国会前交差点を左折霞ヶ関ランプより首都高速都心環状線のトンネルに入り直ぐに通り抜けて、パッと視界が開け右手に五月

